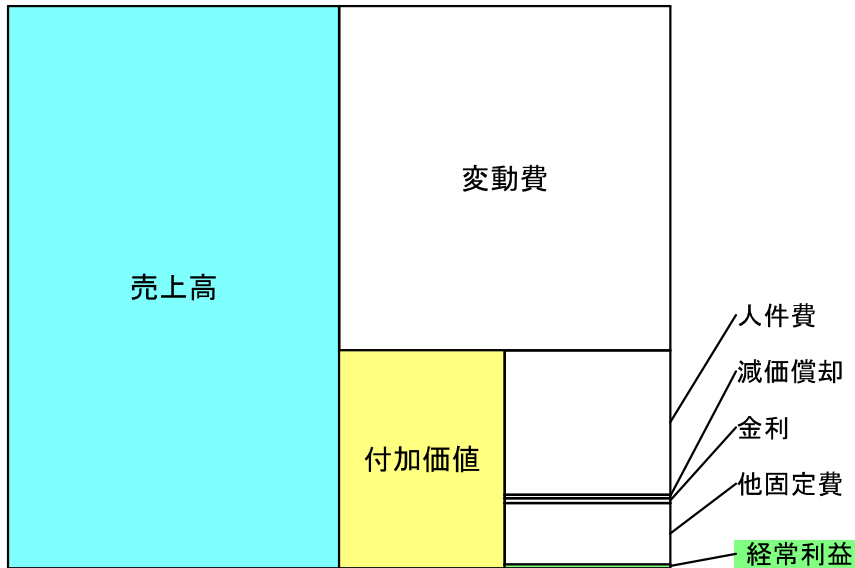


損益計算書の見方

(単位：千円)



科目区分		金額
売上高		170,550
変動費		104,450
付加価値		66,100
固定費	人件費	43,880
	減価償却費	1,060
	金利	1,470
	他の固定費	18,650
計		65,060
経常利益		1,040

(付加価値率 38.8%)

● 変動費と固定費

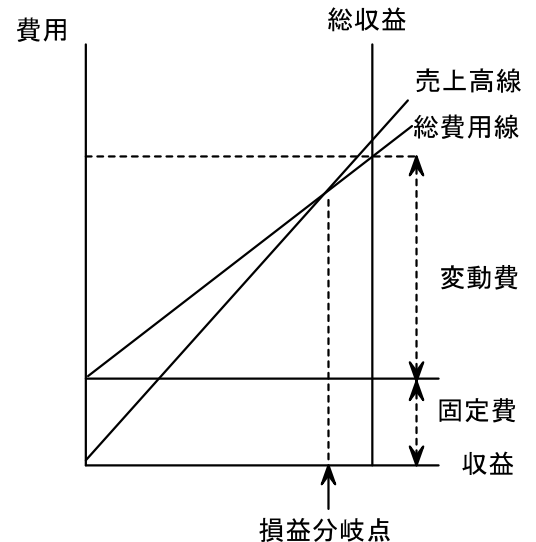
費用は、変動費と固定費に区分されます。

変動費とは、売上の増減に伴って変動する費用で、商品原価・材料費・外注費により構成されています。

固定費とは、売上の増減に関係なく固定的に発生する費用で、人件費・減価償却費・金利等により構成されています。

● 付加価値（限界利益）

付加価値とは、売上高から変動費を差し引いた金額です。付加価値は **限界利益**とも呼ばれます。この付加価値（限界利益）より固定費が支払われます。付加価値から固定費を差し引いたものが **経常利益**です。固定費が付加価値より多くかかると、経常利益はマイナスとなります。すなわち、付加価値とは「ここまでの金額に固定費を抑えれば赤字とはならない限界の金額」といえます。



● 損益分岐点売上高

損益分岐点売上高とは、経常利益がゼロとなる売上高をいいます。

言い換えれば「固定費と同額の付加価値を生むための売上高」となります。

「固定費 ÷ 付加価値率 (付加価値 ÷ 売上高)」という算式により求められ、御社の今回の決算における損益分岐点売上高は、(**167,680**千円)となります。